Ⅲ　食品事業トレンド2007／2017　1．4つの商品コンセプトトレンド

2007-2017の基本潮流から導かれる食品のメガトレンドは「健康」「旨さ」「孤食」「安全」の4つである。これらの4つのメガトレンドは今後の10年で「健康」は人生を充実・ライフアップする「ライフデザイン」に、「旨さ」は収益確保を目指したブランディングで「銘品化」に、「安全」は当然の体制としての「高信頼」にそれぞれ進化していく

メガトレンド	メガトレンドの進化	コンセプト進化のメカニズム
健　康	ライフデザイン 病食⇒予防⇒アンチエイジング⇒ライフアップ 【影響要因】 QOL浸透、高齢化、肥満予防、自己実現	食品の健康効果の明確化が進む ↓ 細分化された目的に対応した利用が可能となる ↓ 自分の生き方に合わせて食品を選択する時代となる
旨　さ	銘　品　化 No1の旨さが定番化されていく 【影響要因】 高齢層の保守性、高利益No1商品開発競争、ｴﾋﾞﾃﾞﾝｽの強化	売上拡大重視から利益拡大重視への転換 ↓ ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ型新商品製作⇒No1ｽﾄﾛﾝｸﾞﾌﾞﾗﾝﾄﾞ政策 ↓ 旨さを軸に独自のﾎﾟｼﾞｼｮﾝを創る商品化へ
孤　食	セルフィッシュ いつでもどこでも簡単に一人前づつの本格味 【影響要因】 世帯人員減少、家庭内孤食増加、個人別健康管理、料理時間短縮	個人単位の食品が主流となり商品開発が進む ↓ 効率低下を補うための簡便性・保存性が追求される ↓ 個人のこだわり（旨さ・健康）を満たし簡便性を持つ食品へ
安　全	高　信　頼 当り前の安全（安全性を担保する高度な体制を公開） 【影響要因】 ICTの進展、非安全リスクの増大、投資家の圧力	安全システムの運用面での不安・海外原料への不安 ↓ トレーサビリティ強化・輸入チェック強化 ↓ 顧客も参加できる監視（信頼）及び 国際ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ（原料直接管理）